

令和 2 年 7 月 1 日現在

機関番号：34310

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K17667

研究課題名（和文）反乱と災害からみた近現代広西省の地域史叙述

研究課題名（英文）Disturbance and Disaster in Guangxi Province, 1900s

研究代表者

土肥 歩 (DOI, Ayumu)

同志社大学・文学部・助教

研究者番号：10731870

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,100,000円

研究成果の概要（和文）：本研究課題の目的は、中国近現代史における地域史叙述について、民衆反乱と自然災害という観点から再検討を行うことであった。過去3年間において、報告者は日本国内の研究を海外に向けて情報発信することを念頭に研究に取り組んだ。たとえば、2017年夏には中国浙江省、2018年春にはアメリカ合衆国のワシントンD. C.でそれぞれ行われた国際学会に参加し、研究報告を行った。なお、本研究課題の成果の一つとして、2020年度中に日本国内の学術雑誌に論文が掲載される予定である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究課題は、日本国内で研究蓄積が十分ではなかった近現代の広西省における地域史叙述を再検討した。その結果、20世紀初頭の広西省では、自然災害に対する国際的な救援活動が行われたことを紹介することができた。日本も数多くの自然災害に見舞われた。しかし、災禍に見舞われるたびに、国際的な支援の手が被災者や政府に向けて差し伸べられたことは記憶に新しい。こうした災害救援の歴史を紐解くことは、グローバル社会における異文化理解にも直結するばかりでなく、災害救済活動が政治・外交・思想・地域社会にどのような影響を与えたのかを解明する手掛かりになるように思われる。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study is to shed the light on a historical narrative of local communities in Guangxi Province from viewpoints of disturbances and a natural disaster. Since April 2017, while I paid a special attention to output my work for foreign researchers. For example, I reported my study at national conferences held at Zhejiang Province, China (PRC), September 2017, and Washington D. C., March 2018. In addition to this, my article will be appeared in an academic journal in Japanese during 2020.

研究分野：中国近現代史

キーワード：地域社会 広西チワン族自治区 災害 宣教師 民衆反乱

1. 研究開始当初の背景

2000年代前後から、キリスト教伝道団体(以下、ミッション)が残した諸史料(以下、ミッション史料)を用いて地域社会を描写するという研究手法が研究者に着目され始めた。たとえば、福建省福州におけるキリスト教会の活動がナショナリズム形成に影響を与えたことを実証したダンチの研究(Ryan Dunch, *Fuzhou Protestants and the Making of a Modern China 1857-1927*, Yale University Press, 2001)や、19世紀末の潮州地域社会で生存手段として教会の保護を利用した人々を描くリーや蒲豊彦の研究が代表的である(Joseph Tse-Hei. Lee, *The Bible and the Gun, 1860-1900*, Routledge, 2003、蒲豊彦「宣教師、中国人信者と清末華南鄉村社会」『東洋史研究』、2003年12月)。

私はこうした研究手法を採用し、広東省におけるキリスト教伝道の推移に焦点を当てて研究を進めた。そして、中国留学を含む海外での資料調査や科学研究費助成事業を通じた研究者との学術的交流を通じて、博士論文を東京大学大学院総合文化研究科に提出し、2014年3月に博士号(学術)を取得した。この博士論文に加筆・修正を加えたものが『華南中国の近代とキリスト教』(東京大学出版会、2017年6月)である。

しかし、博士論文執筆中から中国語の日刊紙に、広西省(現在の広西チワン族自治区)についての記述が長期にわたって記録されていることに気付かされた。その記述の多くが、1900年代初頭から数年にかけて広西省を襲った自然災害(以下、壬寅奇災)や広西省とフランス領インドシナ連邦(以下、仏印)の国境地帯で暴動を引き起こしていた除隊兵士(游勇)に関するものであった。一方で、この災害に対して宣道会(Christian and Missionary Alliance)が災害救済に従事していたことも知りえていた。

これまで、広東省におけるキリスト教伝道の実態について研究を進めてきたが、広西省との関連付けや、災害救済とキリスト教伝道の関連性についての考察も必要だと考えるようになった。

2. 研究の目的

こうした背景から、本研究課題は広西省で発生した游勇による騒乱(1890年代~1905年ごろ)と、壬寅奇災の推移に着目した。これを通じて、近代中国における広西省の地域社会におけるキリスト教伝道の実態を再検討するとともに、隣接する広東省や香港と接続可能な歴史像を提示することを研究の目的とした。

3. 研究の方法

以上の目的を達成するために各種資料と先行研究を分析した結果、報告者は游勇の騒乱が広西省各地で発生するさなかに壬寅奇災が発生したため、地域的な混乱に拍車がかかっていた事実を知りえた。では、そのさなかに行われた災害救済活動は騒乱の推移にどのような影響を与えたのであろうか。本研究課題では、災害救済を行った主体を2種類に分け、以下のような資料に基づいて研究を進めた。

(1) 宣道会宣教師およびアメリカの在広州総領事ロバート・マクウェイドによる災害救済。

概要: 宣道会の要請を受けて、マクウェイドが1903年4月に「アメリカ救済遠征隊」を組織し、広西省に対して救済物資を運搬した。

利用した資料

程煥文ほか編『美国駐中国広州領事館領事報告(1790-1906)』第19-22巻、桂林: 広西師範大学出版社、2007年。

宣道会の定期刊行物 *Christian and Missionary Alliance* 誌やニューヨークで発行されていたキリスト教系総合雑誌 *Christian Herald* 誌...オンラインで入手可能。

(2) 英領香港による災害救済

概要: 英領香港総督アーサー・ブレイクは、宣道会宣教師や香港の行政官の現地調査をうけて「広西飢饉のための基金委員会」を組織し、広西省に対して救済活動を行った。

利用した資料

Anonymous, *Report of Work done by the Kwangsi Famine Relief Fund*, Printed by Nornila & Co., Government Printers, 1903....東洋文庫モリソンパンフレットにて閲覧可能

イギリス外交文書(F. O. 17) ...東京大学総合図書館にて閲覧可能

研究手法: 以上の史料から、英・米の二カ国が行った災害救済活動の実態(規模・機関・地域など)を比較、検討する。この際、イギリスやアメリカの資料に同時代に発生していた游勇の騒乱がどのように認識されていたのかを精査した。

4. 研究成果

本研究課題の遂行に際しては海外における情報発信を重視したため、国際学会での報告を行う機会を得た。

まず、アメリカ側の救済活動については、以下のパネル報告で研究を紹介した。

・ "American Missionaries in Guangxi Famine: Imperialism and Humanitarianism from a Local Perspective," 於 Association for Asian Studies conference (2018年3月、ワシントン D. C.にて開催)

概要: 壬寅奇災に対する宣道会と在広州総領事マクウェイドが行った救済活動(1903年4-8月)を概観した。マクウェイドは広西省の飢饉救済のためにアメリカ国内の寄付金を利用して3回にわたる「アメリカ救済遠征隊」を組織し、派遣した。しかし、3回目の救済物資は、游勇の騒乱平定のために活動していた行政官に譲渡されたという事実を示した。また、宣道会が行った災害救済活動がキリスト教伝道の足掛かりとなったという先行研究(たとえば、W. H. Oldfield, *Pioneering in Kwangsi: The Story of Alliance Missions in South China*, Harrisburg: Christian Publications, [1936])の指摘も確認しえた。ただし、宣道会を含む宣教師が農村に足を踏み入れることに対する反発が存在したことも指摘した。

次に、イギリス側の救済活動に関しては、以下の2回の報告で研究を紹介した。

・ 「清末広西游勇反乱与壬寅奇災」。於第7回中国近代社会史国際学術研討会(2017年8月、中国浙江省にて開催)

・ 「清末広西における壬寅奇災と英領香港: 救済活動報告書の分析」。於京都大学人文科学研究所附属現代中国センターでの研究班(2019年12月)

概要: 壬寅奇災に対して英領香港が行った救済活動(1903年4-8月)を、香港政庁が作成した報告書を手掛かりに概観した。香港政庁は行政官セシル・クレメンティを派遣して災害の実態調査を行わせた。それに基づいて設立された「広西飢饉のための基金委員会」は、義援金で救済米を購入し、宣教師たちに託して救済米を配布させた。しかし、各種資料を精査した結果、以下二点を指摘した。一つは、香港政庁による救済活動は騒乱(おもに政府側の鎮圧作戦)の被害を被った農村もその対象としていたことである。もう一つは、香港政庁が遠隔地の広西省に対して災害救済を行った背景には、広西省から香港に輸入されていた肉牛の価格高騰を防ぐ(もしくは供給を安定化させる)配慮が見られたということである。

以上、本研究課題では、アメリカおよびイギリス(英領香港)による壬寅奇災の救済活動と同時期の騒乱が密接な関係を帯びていた事実を確認した。

本研究課題で得られた成果を学術論文として公表しようとしたものの、報告者自身の異動など諸般の事情によってかなわなかった。なお、本研究課題に関して、報告者は明治学院大学キリスト教研究所が発行するニュースレターにコラムを掲載した(2019年)。これ以外に、2020年度中に本研究課題の成果に関する論文が学術雑誌に掲載される予定である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 4件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 土肥歩	4. 巻 83
2. 論文標題 民国初年の「神像破壊」をめぐる：鍾栄光と陳景華	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 史潮	6. 最初と最後の頁 36-58
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 土肥歩	4. 巻 51
2. 論文標題 対華二十一箇条要求と中国キリスト教界	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 明治学院大学キリスト教研究所紀要	6. 最初と最後の頁 237 - 261
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 土肥歩	4. 巻 957
2. 論文標題 広州格致書院の創設と地域社会	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 土肥歩	4. 巻 50
2. 論文標題 五四運動と中国キリスト教界の「反日」言説	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 明治学院大学キリスト教研究所紀要	6. 最初と最後の頁 101-122
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 2件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 土肥歩
2. 発表標題 民国初年の太平天国イメージ
3. 学会等名 アジアと向き合うキリスト者 その歴史と未来：武田（長）清子を記念して（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 土肥歩
2. 発表標題 第7回中国近代社会史国際学術研討会
3. 学会等名 清末広西游勇反乱与壬寅奇災（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 土肥歩
2. 発表標題 民国初年の「偶像破壊」をめぐる：鍾栄光と陳景華
3. 学会等名 歴史学会第42回総会・大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 土肥歩
2. 発表標題 American Missionaries in Guangxi Famine: Imperialism and Humanitarianism from a Local Perspective
3. 学会等名 Association for Asian Studies conference（国際学会）
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

明治学院大学キリスト教研究所
<http://www.meijigakuin.ac.jp/~kiriken/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----